



三種町

議会だより

平成26年
1月31日 発行

第32号

「どんど焼き（浜田地区）」

写真提供：吉田博光さん（鶴川字東鶴の巣）



も く じ

議長年頭所感	2
補正予算の内容、議案一覧	3
補正予算審議	4
一般質問（7人が登壇）	5～11
所管事務調査報告	12
臨時会、請願・陳情	13
三種の星、編集後記	14

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

年頭所感



三種町議会議長 児玉 信 長

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年、午年（うまどし）ということから古来より馬は縁起がよい動物と言われ、またその駆け抜ける力強さ、美しさが多くの人々を魅了し、大きな飛躍を期待させる年でもあります。

昨年を振り返ってみますと、本町におきましては、なんと申しまして台風18号による甚大な被害があげられます。被災された皆様にはあらためて衷心よりお見舞い申し上げます。

また、最も明るい話題として、大晦日に行われたWBCスーパーフェザー級タイトルマッチにおいて三浦隆司選手が見事2回目の防衛を果たしたことは、町民の誇りであり、今後益々のご活躍を期待するところでもあります。

さて、国内に目を向けてみますと2020

年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定という明るいニュースはありますが、長引くデフレ経済の低迷からの脱却を目指し打ち出されたアベノミクスの三本の矢の「成長戦略」は、都市部ではその効果が顕著にみられているようですが、地方への波及速度は遅く、これからという感が否めません。さらに昨年決定された平成30年度での主食用米の減反制度の廃止やTPP交渉の動向など、今後の農家経済や町予算などに直接影響を被る事態も懸念されます。今年、首長、議会議員の改選期の年でもあります。これまで同様これらの多難な諸問題に議員一同、町の振興発展のため努力してまいる所存であります。

結びになりますが、例年より雪が少ないとはいえ、まだまだ厳しい寒さが続きます。町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく

お願い申し上げます

三種町議会

議長 児玉 信 長
副議長 袴 田 隆
議員 鈴木 一 幸

加藤 彦次郎
清水 欣 也
安藤 賢 藏
工藤 秀 明
堺 谷 房 子
平賀 真
伊藤 千 作
近藤 一 彦
金子 芳 継
三浦 敦
大澤 和 雄
宮田 幹 保
児玉 重 吉
斎藤 清 作
後藤 崇美子
小澤 高 道

(議席順)

平成25年

12月定例会補正予算の内容

12月11日～13日

会 計 名	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
●一般会計	109億3,734万1千円	4億589万2千円	113億4,323万3千円
【主な歳出】			
・電子計算費（内部情報システム用パソコン、第3次L G W A N機器導入）		1,041万1千円（一般財源）	
・灯油助成（灯油購入費の助成補助）		701万5千円（一般財源）	
・農地集積協力金（協力金交付事業費）		778万8千円（県支出金）	
・新規就農者経営開始支援（支援事業費）		421万 円（県支出金、一般財源）	
・ゆうばる管理費（宿泊棟改修基本設計）		258万6千円（一般財源）	
・水害時補償（被害補償）		199万8千円（一般財源）	
・小学校校舎耐震補強工事（下岩川小学校校舎耐震補強工事）		5,277万 円（国庫支出金、町債）	
・農地・農業用施設災害復旧（災害復旧事業費）		2億6,176万 円（県支出金、町債）	
・林業施設災害復旧（災害復旧事業費）		973万3千円（県支出金、町債）	
・土木施設災害復旧（災害復旧事業費）		1,951万3千円（国庫支出金、町債）	

●特別会計

会 計 名	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億1,742万9千円	18万 円	26億1,760万9千円
簡易水道事業特別会計	2億2,926万6千円	歳出組替	2億2,926万6千円
農業集落排水事業特別会計	1億7,516万6千円	363万1千円	1億7,879万7千円
介護保険事業勘定特別会計	26億5,265万5千円	12万9千円	26億5,278万4千円
温泉事業特別会計	3,360万 円	歳出組替	3,360万 円

●水道事業会計

区 分	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
収益的支出	1億4,066万2千円	1,194万8千円	1億5,261万 円
資本的支出	1億1,053万8千円	538万5千円	1億1,592万3千円

※議長は採決に加わりません。
※12月13日の午後から1人欠席のため、各会
計補正予算と人権擁護委員候補者推薦の議
案について、採決総数は17人となっている。

報 告	その他	平 成 25 年 度 予 算										条 例 改 正		区分	審議された議案一覧
専決処分の報告（公用車接 触事故による相手方車両の 損害賠償に関すること）	人権擁護委員候補者の推薦	水道事業会計予算の補正	温泉事業特別会計予算の補 正	介護保険事業勘定特別会計 予算の補正	農業集落排水事業特別会計 予算の補正	簡易水道事業特別会計予算 の補正	国民健康保険事業勘定特別 会計予算の補正	一般会計予算の補正	国民健康保険センターの設 置・管理運営に関する条例 の一部改正	山本健康保養センターの設 置・管理運営に関する条例 の一部改正	諸収入金に係る督促手数料 及び延滞金の徴収に関する 条例・後期高齢者医療に関 する条例の一部改正	議 案 名	賛成	採決	
－	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	反対	状況		
報告	報告	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果		

補正予算審議

問 企画振興費委託料の「支障移転業務」とは。

答 県道能代五城目線の小町地区の拡幅改良に伴い、電柱にかかった難視聴用の光ケーブルを移転するためのものである。

問 電子計算費備品購入費のパソコンはウィンドウズXPのサポートが終了することに関連するものか。また、今回の購入台数は。

答 今回購入予定数は50台であり、企画政策課管理の181台がウィンドウズ7となる。この更新により、セキュリティ対策も万全となる。

問 体育施設管理費の電気料や街灯の光熱水費での補正が目につくが、これは電気料金値上げによるものか。

また、消費税増税についてはどのように対応するのか。

答 今回の補正は電気料金値上げによるものである。消費税増税については、新年度予算編成時期でもあり、各担当部署において試算中である。

問 ゆめろんの改修工事437万8千円は何の工事か。また、大規模改修について議論されている中、その改修の際にできることではないか。

答 今回の補正では、ゆめろん本体と宿泊棟の渡り廊下部分の雨漏れと、トイレのウォシュレット等の便器改修、部屋に鍵を取り付けるなどである。

大規模改修を予定しているエリア



ゆめろんの渡り廊下部分

は浴室部分であり、今回の改修については緊急を要するものである。

問 ふるさと納税の現在の寄附額とその活用について。またその謝礼とPRの方法はどうか。

答 11月末までの申込件数は14件24万円である。使途を指定されたものについては、目的に応じた事業に充当していく。謝礼は寄附してくれた方に、一律に特産品を送付している。またふるさと会やホームページ等でPRしており今後も継続していく、その方法についても随時検討していく。

問 文化振興費委託料「松枯れ樹幹注入7万6千円」は、町内のどの松に対するものか。また薬剤を注入するだけでなく、社会教育の一環としてムシロで囲うなど昔ながらの方法で文化財を守ることも可能ではないか。

答 金光寺の文化財指定樹と二ツ森にある保存樹2本について、松くい虫防除の薬剤注入を専門業者に依頼した分である。また、地域の方々



金光寺の文化財指定樹

のボランティア活動の場としてもらうことや、児童・生徒の環境教育のひとつとなることから、昔ながらの形で文化財を守ることを今後検討していきたい。

問 林業費委託料「松くい虫被害木搬出運搬」は冬期間も継続して作業するようだが、周辺の道路や畑に小枝が散乱し春の農作業にも支障をきたす状態であるが、町の対応は。

答 処理の仕方については、周辺住民の声を参考に、業者にも指導していきたい。

冬季災害時の避難路と避難所の確保



斎藤 清作
議員



避難所（鵜川地区館）

斎藤

冬期間の震災は比較的発生が少ないと思っ

いたが、平成7年1月17日、午前5時46分、兵庫県を中心とした阪神地方に甚大な被害を与えた阪神・淡路大震災から18年、また平成23年3月11日、14時46分ごろ発生した東日本大震災から2年半が過ぎ、平成元年から平成24年まで冬期間である11月から3月まで震度3以上の地震発生は37回以上発生しているそうである。

冬期間に地震が発生した場合に備えて、次の点について伺う。

①積雪時の避難路等の確保と対策について。

②冬期間は避難所の暖房や燃料、防寒衣類はどうなのか。

③障害者や高齢者の方々に福祉避難所の設置などは考えているのか。

町長

①災害時に避難所へ避難する場合、集落から避難所への道路や避難所などの除雪が必要になる。三種町除雪計画により集落道路や主要な道路、公共施設等に接続する道路の除雪は優先的に行われる。

三種町地域防災計画では避難所に指定されている施設はおおむね町の施設や各集落の集会所などの公共施設が避難所となっている。

②冬期間の避難所への物資備蓄は本庁と総合支所に三種町地域防災計画に基づいてそれぞれ備蓄している。

学校給食の 異物混入問題

③障害者や高齢者のひとり暮らしの方々に、本町では国の福祉避難所の設置運営ガイドラインを踏まえ、平成22年10月に三種町災害時要援護者避難支援プランを作成している。

斎藤

秋田市内の小学校で、10月から11月にかけて給食に異物混入が相次いで見

つかった。最も安全でなければならぬ学校給食において、衛生管理の徹底は最重要項目であり、このような事故は許されないことである。日本の学校給食については、2012年11月30日の中国のニュースをインターネットで紹介している「人民網日本語版」では、「子供の健康、栄養面、また衛生管理もきちんと行われており、中国の学校給食も日本を見本にするべきだ」と配信されており、これだけ日本の学校給食は安全なはずなのに、なぜ、このような事態が起きたのだろうか。

町の学校給食では異物混入防止はどのような対策をしているのか。

町長

学校給食センターでは、毎日約1300食を調理しており、納入業者へは目視検査の徹底を依頼しているほか、食材受領時には異物がなければ確認をし、水洗いでは3人で検査を行っている。また、調理器具や機器については、長期使用により割れやすくなったかごやざるを定期的に変換したり、刃物の刃こぼれを防ぐため早めの交換を行っている。センター内の衛生管理対策としてネズミ、ハエ、クモの駆除を毎月1回定期的に実施し、調理場へのピン、鉛筆、クリップなどの持ち込みは絶対しないよう指導している。細心の注意を払いながら、今後とも子ども達へ安全で安心な学校給食の提供に努めていく。

他に

「AEDの設置と救命」について質問しました。

台風18号で再認識された課題と今後の対策は



台風18号による被害状況（下岩川地区）



平賀 真
議員

平賀 9月16日の台風18号の大雨により甚大な被害が発生した。「行政の目が自分たちには向けられなかった」という悲壮感に満ちた声が届いている。この他にも様々な意見が寄せられていると思うが、今後の対策に生かされているのか。

また、行政の時間外の対応、全職員への緊急時の伝達はどうなのになっているのか。

町長 被害総額は4億7千354万3億874万円。復旧予算は総額3億874万円。見舞金は床上浸水が50棟、床下浸水が55棟で765万円（床上1軒辞退）となっている。

町の対応としては、午前9時38分暴風・大雨・洪水警報が発令。午後0時30分三種町消防団が出動、河川等の警戒及び土のう積みを実施。午後2時災害対策本部警戒部を設置、建設課、農林課、町民生活課、山本・琴丘総合支所では警戒部設置前に巡回等を実施。午後3時30分三種川の水位が上昇したため注意喚起を促す無線放送を流す。午後8時20分に三種町災害対策本部を設置し、森岳・川尻・久米岡地区に避難勧告を発令した。避難者は向達子生活改善センターに4名、山本公民館5名、川尻集会所50名、安戸六自治会館20名。各避難所に職員1名を派遣している。

伝達方法については、災害時の迅速な行動のために、携帯電話への一斉メール送信によって招集する方法に切り替える準備を進めている。

平賀 今後防災マップの見直しが必要と思われるが、計画は。

町長 洪水マップは、今回の災害の教訓から明らかになった課題をもとに、平成26年度に見直しを行う。

平賀 自主防災組織がある自治会集落は何力所あるのか。今後防災意識を高めるためにマニュアル作りが必要ではないか。

町長 自主防災組織は正式に発足している自治会・集落はないが中嶋・釜谷・久米岡自治会が事実上の防災組織として活動している。今後は県とも連携しながら自主防災に向けた研修会等を開催し、意識の向上を図っていきたい。

今後の町の課題と具体的対策は

平賀 長期に亘る課題を抱えていると思うが、具体的対策を伺う。

町長 町の課題は大きく分けて6点あると考えている。

- ①産業振興については、農家の皆さんが安心して営農でできるようにしていきたい。商工業へは各種支援を積極的に行う。男子型企業の誘致活動は継続していく。
- ②生活環境については、三種川の河川改修、上下水道、温泉の配管の入れ替え、道路、橋梁、公営住宅等計画的に改修作業を進めていく。
- ③福祉の充実については、大幅な人口減少社会の到来に備え、地域住民の健康寿命を長くし、自立した元気なお年寄りをつくるしていく。
- ④教育と文化については、他町村に誇れる教育の町にしたい。将来的には小中学校の統合が検討課題に入ってくると思定している。山本公民館、上岩川改善センター、鵜川・浜口地区館の改築の検討。国民文化祭の受け入れ態勢を整える。
- ⑤自然環境については、美しい自然を保つために、都市と農村の交流も図りながら自然を残していく。
- ⑥行財政改革については、無駄を省き、選択と集中により効率的な予算執行に努めていく。

水 害 へ の 対 策 は



安藤 賢蔵
議員

安藤 八郎湖の防潮水門の開放が遅かったので、しかも久米岡集落の河口付近の堆積物を除去しないせいで、今回下流部まできた水害を大きくした。私たち地域住民が考えているほど県の防潮水門の管理規定の係官との間で相対の温度差があつて今回の水害を大きくしたと思う。

水田はしょうがないとしても住宅に水が上がった時の気分というのは、物凄く落ち込む。水田には共済金が入るが住宅には今回町から5万円とか10万円の見舞金支給されて、これで終わりではやはり精神面、経済的にも相当大きな損害、不安を与えてしまっている。水害を最小限に食い止める義務が我々にはあると考えるがどうか。

町長 船越の防潮水門は条例と秋田県八郎潟防潮水門管理条例施行規則によつて、秋田地域振興局農林部秋田県八郎潟基幹施設管理事務所で管理、操作されており、周辺自治体からの要請の場合も八郎湖側や河口側周辺の安全が確保された場合に限り随時水門を開けることができる。また、三種川河口のしゅん



台風18号による被害状況（鵜川地区）

せつをお願いしたところ、県との考え方にはずれがあり、なかなかご理解いただけません。いずれしゅんせつは大変お金がかかるというののも一つの背景にあると思つています。しかし、地元としてはしゅんせつをやつてもらわなければならぬので国・県へ継続して要望していく。

T P P 交渉、生産調整の廃止

安藤 国会で農水省の職員が廃止のことに特に関心している。いろいろなところで減反の廃止、どのように今後の日本農業を展開していくか、自民党は幹事長がどうしたら農

民票を減らさないで水田減反を進めるか悩んでいる。農家には唐突にできた政策で、この半世紀にわたつてやってきた減反をやめて今度は飼料米を植えないさい、10万円から5万5千円で買い取るからと。この政策がずっと続くとはいえないし、我が三種町には牛や豚やにわとりが他町村より大変少なく、飼料米を買ってくれるところがほとんどない。これは大規模な農家も一緒に淘汰されると思う。そうなると固定資産税も払えない農家も出てくる。当局は現時点でどのように考え、農業の町を発展させていくのか。

町長 町に与える影響として戸別の生産数量の配分がなくなると競争が激しくなることが考えられる。町としては主食以外の作物や地域振興作物の生産が拡大していくように一層の対策強化が必要であり、今後とも国の動向を注視していきたいと思つている。

三種川流域の大雨被害対応と対策は



児玉 重吉
議員

児玉

大型台風18号は数十年に一度しかないような大雨の警報どおり町の河川は大洪水となり大きな被害が発生した。特に三種川流域の被害は甚大であったが、その対応と対策と町の体制を伺う。

①大雨による避難勧告はどのような判断で発令され、その結果と対策は。

②避難情報が防災行政無線から聞こえなかったり、避難場所に戸別受信機が無いため現状把握ができなかった。

③県側へ洪水被害を少なくするため三種川河川改修の促進と八郎湖東部承水路の三種川河口にある土砂堆積除去対策は並行して進めるべき問題ではないか。

④八郎湖承水路防潮水門を開く判断が遅れたため洪水被害を大きくしたと推定されるが、防潮水門を開く情報

は町として県側に伝達できないのか。

町長

①大雨による警戒部は午後2時に設置したが、午後3時前後から急激に河川が増水したことにより避難勧告を発令する前に三種川や鵜川が氾濫、そして午後8時20分に森岳、川尻、久米岡地区に避難勧告を発令した。今後は、災害対策本部設置の職員招集方法や河川などの監視方法、避難勧告の基準、避難所の指定など、さまざまな課題を平成26年度に見直す。

②現在、防災行政無線が聞こえなかったことなどの対応については検証を行っている。また、避難所への戸別受信機の設置も検討したい。

③平成22年の大雨で土砂や流木が堆積したこと、そ



台風18号による被害状況（川尻地区）

れ以降は毎年県へしゅんせつの要望を行っているが、今回の台風でさらに量が増えて中州のようになったので、状況報告をし河川管理者である秋田県へ河川改修促進と堆積土砂の除去を並行して要望する。

④洪水災害の危険回避のため、周辺自治体からの要望があれば随時水門を開けることができる。聞いています。今回の災害を教訓として今後は県側と緊密な連絡をとり適切な対応に努める。

スポーツ少年団の存続

児玉

小学校の児童数減少から、今後スポーツチーム編成ができない学校が出てくる。このままでは自然減少し児童達がスポーツを通じて学ぶ多くの経験や教育の場が失われつつある。この現状を前にしてスポーツ存続のための組織づくりや環境づくりについての考えは。

教育長

組織づくりは個々の実情を十分踏まえないながら学校枠を超えたチーム編成、あるいは学年を考慮したチーム編成が必要となる。また環境面では指導者の育成と資質の向上、活動場所の確保と充実、保護者の負担軽減などが課題と考える。今後はスポーツ少年団本部や関係者と協議、連携しながら、子ども達の健全育成に向けた取り組みを考えていく。

ゆうばる、ゆめろんの施設現況調査と改修方針は



工藤 秀明
議員

工藤 ゆうばるとゆめろんは町民の健康維持と福祉に寄与するため建設され、町民の憩いの場として親しまれており、不特定多数の利用客にも満足されていると思っています。その両施設について、大規模改修に伴う施設現況調査を実施したようだが、どのような結果が報告されたのか。

町長 ゆうばるの宿泊棟は、建設から約50年経過しており、建物自体も床高が低いので湿気による傷みもひどく、老朽化が著しい状態である。また、火災時の避難経路も大変危険な状況にある。

ゆめろんの施設は浴室とその周辺の配管の腐食が著しく配管やサッシ周りからの漏水がある。



ゆうばるの宿泊棟へつながる階段

工藤 両施設の改修事業を起爆剤に魅力ある観光地の青写真を描くべきと考えるが、改修方針を伺う。

町長 ゆうばるの宿泊棟を解体し、新たに宿泊棟を建設する。段差を解消し、湯治や合宿客を主な利用ターゲットとし簡単な自炊もできるような施設にしたい。

ゆめろんは営業を継続しながら、浴室を1階に再構築すべきと考えている。平成27年度に改修に着手したい。

工藤 ゆめろんは、4月に支那人が替わり、いろいろ経営改善しているようだが、経営状況は昨年の同時期と比較した場合、どのように推移しているのか。

商工観光交流課長 9月までの収支は159万円の赤字ではあるが、昨年の同じ時期と比較すると772万円改善されている。

町長の政治家としての姿勢と今後の在り方

工藤 町長に就任して以来、公約の70%から80%は実施していると評価しているが、町長自身はどう分析しているか。

町長 選挙で5つの公約を掲げ、取り組んできたが引き続き行っていきたい。

工藤 町民からの審判は、その人の実績に基づく評価である。2期目への挑戦をどのように考えているのか。

町長 後援会、支持者などと相談しながら、しかるべき時点で態度を表明したい。

米政策転換による影響は

大澤 和雄
議員

大澤 国は米の直接支払交付金単価を現行の10アル当たり1万5千円を、2014年度から半額の7千500円に減額し、2017年度までの期限措置、2018年度からは廃止することを決定した。

また、米の生産調整も2018年度を目途に廃止するとしている。来年度の生産調整面積が過去最大の面積となる一方で、直接支払交付金が半減されると、本町の農業へも相当影響が出てくるものと懸念されるが対応について伺いたい。

さらに、米の需給や価格の安定に国が責任をもって取り組むよう、関係機関と連携して国に働きかけていかなければならないと考えるが、対応についてどう考えているのか。

町長

国は11月29日に平成26年産の生産数量目標を公表した。秋田県は3%の減少で単純に三種町に換算すると転作面積は4割を超えることになる。また三種町の今年の直接支払交付金予定額は4億8千700万円であるが、半額となると約2億4千300万円の減少額となり、米の3%減少分800万円を加えると2億5千100万円の減少額になるものと心配される。

全国町村会では米の所得安定対策と生産調整の見直しにあたっては、現場を混乱させないことや小規模農家を切り捨てないこと、食糧自給率50%の達成に向け実効性ある施策を推進することを要望している。今後とも関係機関・団体、農家と連携して、本町の農業の環境整備を進めていきたい。

TPP交渉、即時撤退を

大澤

米を含む農産物の重要5項目について「関税

撤廃の例外から抜けるか、抜けないか検討しなければならぬ」と

したTPP対策委員長の発言や、日本は95%前後の自由化率を提示する方針をアメリカ側に示したと報道されている。さらに主食用米の輸入枠の拡大や低税率や無税の輸入を認める検討に入ったとされ、重要5項目を聖域とするという国会決議を守れないことは明らかである。本町農業を守るためにもTPP即時撤退を求めるべきではないか。

町長

国は重要5項目について関税を維持する考え方でTPP交渉にあたってきた。ところがTPP交渉の閣僚会議で関税撤廃を検討する意向を表明した。その後、重

要5項目については変更はないと説明しているが、全国の世論調査によれば、86%が交渉内容の説明が不十分であることから拙速な妥協に懸念を示していると受け取れる。

TPP交渉において日本は農業分野の5項目は譲歩できないというスタンスを貫き通すべきと考える。今後とも十分に注目していきたい。



全国決起集会

公契約条例の制定を

一般質問



伊藤 千作
議員

伊藤 公共サービスの民営化が進む中、公的機関が受託事業者との間で結ぶ契約に、人間らしく働くことのできる労働条件を確保する条項を定めようとする公契約条例は、ますます重要となっている。

公契約とは、公共工事や公共サービスについて発注する公的機関と受託する事業者との間で結ばれる契約のことである。

この公契約の中に、生活できる賃金など、人間らしく働くことのできる労働条件を確保させ、発注者の公的機関に制裁措置をもって労働条件の確保を担保させようとするものである。

当町としても、この公契約条例制度に向けて取り組むべきと思うがどうか。

町長 近年、公契約の内容を法律や条例で規定しようとする自治体も出てきている。

当町は、公共工事などの質の確保や向上を図るため、最低制限価格制度や低入札価格調査制度などを設けている。

予定価格の算定の中で最も重要なコストの一つが人件費であり、低価格入札を抑制することで賃金水準の確保の一助となっていると思うが、万全とは考えていない。

それでは、すぐ公契約条例を制定できるかというと、制定には多くの課題もある。

今後、他の市町村の情報などを得ながら、この公契約条例が必要なのか、基本的なところから検討しなければならぬと考えている。

町道等の側溝改良・ふたの設置を

伊藤 町道を通行していると、側溝にふたを設置していない地域が多く見られる。



ふたを設置していない危険な側溝

側溝に落ちてケガをしたり、車が脱輪するなど、自転車、自動車、歩行者が安全通行するためにも、年次計画をたて大々的に取り組むべきだ。

側溝改良、ふたの設置事業は地域に密着の事業で、地域建設業者の仕事おこしにもつながると思うがどうか。

町長 道路周辺の利用状況の変化により、ふたを設置したり、側溝を改良したほうが良いのではと思われる箇所が出てきている。

自治会からの要望も出されてきており、順次、年次計画

で取り組んできている。今後も自治会要望などで提出してもらえれば、要望の状況、緊急度などを確認の上、対応していく。

住宅リフォーム事業の継続を

伊藤 2009年からスタートしたこの事業は、町民の要望にマッチして爆発的ともいえる効果を上げている。この事業を継続していくべきと思うがどうか。

町長 この5年間で、累計で803件、町の補助金が6千211万円に対して工事費が約14億8千447万円であり、補助金に対して24倍の経済波及効果がある。

こうしたことから、来年度も当事業は続けていきたい。

所管事務調査報告

教育民生常任委員会

調査日

平成25年
11月26日(火)

浜口小学校校舎耐震改修工事について

浜口小学校校舎耐震改修工事は、順調に推移し10月30日をもって完了していた。工事概要は、鉄骨ブレースを5カ所に設置したものであり、これにより校舎耐震指標が0.675から0.804となり、耐震診断基準である0.7以上をクリアし、児童にとって安全安心な学校となっていた。

湖北小学校校舎耐震改修工事について

湖北小学校の耐震改修工事は工期が11月30日であり、浜口小学校同様順調に推移していた。



湖北小学校の現地調査

工事概要は、校舎ブレース補強10カ所、耐震スリット7カ所、体育館方づえ補強8カ所であり、この工事により校舎は、耐震指標0.57から0.791へ、また、体育館は、0.50から0.74に耐震指標がアップし、児童にとって安全安心な学校となる。

山本中学校校舎大規模改修工事について

山本中学校校舎大規模改修工事は、当初の工事計画に校舎2階と3階部分のトイレ改修工事が追加されたこともあり、工事中ではあったが順調に推移していた。

工事概要は、外壁、庇等の防水、屋根、天井、廊下・階段床の改修と照明器具交換、サッシ戸車交換、下足棚交換などであり、工事は順調に推移し、昨年度の視察の際に懸念されていた箇所についても改善され、生徒にとって快適な学校となっていた。

また現在、改修工事の際に新たに、排水鉄管ジョイント部分から汚水が漏れ出すなどの不具合が発見されたことから、次年度での実施を予定していた2階と3階部分のトイレの洋式化と併せた工事が進められていた。

学校施設は児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割もあることから、その安全性も確保されるものと考えられる。



山本中学校の現地調査

付帯意見

各校の耐震工事とは別に、今回の視察で湖北小学校体育館の照明器具の交換と屋根雨漏りの改修が早期に必要と思われる。

また、グラウンドの水はけが悪いなど整備を必要とする保護者からの要望もあるようなので、今後調査が必要と思われる。

第5回 臨時会

日時：平成25年10月28日(月)

● 専決処分の承認(一般会計補正予算)

原案可決

〈主な内容〉

- ・ 台風18号に伴う豪雨災害に関する経費

● 工事請負契約の一部変更

原案可決

- ・ 山本中学校校舎大規模改修工事請負契約

● 平成25年度一般会計予算の補正

原案可決

〈主な内容〉

- ・ 水道未普及地域施設整備補助金 ……45万7千円
- ・ 志戸橋地区災害復旧工事費 ……100万円

● 平成25年度水道事業会計予算の補正

原案可決

〈主な内容〉

- ・ 浄水場次亜注入機取替工事 …… 367万5千円

請願 陳情 審査報告

請 願

件 名	請 願 者 氏 名	紹介議員	付託委員会	結 果
T P P 交渉に関する請願	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫	伊藤 千作 大澤 和雄	産業建設常任委員会	採 択

陳 情

件 名	陳 情 者 氏 名	付託委員会	結 果
「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」改正を求める意見書採択についての陳情	秋田県原爆被害者団体協議会 会長 小山 春雄	教育民生常任委員会	趣旨採択
日本国憲法をいかし、安定した雇用の実現を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	教育民生常任委員会	採 択
医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	教育民生常任委員会	採 択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	教育民生常任委員会	採 択
介護職員の処遇改善を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	教育民生常任委員会	採 択
「特定秘密保護法案に反対する意見書」についての陳情書	治安維持法国賠同盟能代・山本支部 支部長 塩谷 啓一 能代平和委員 代表委員 北川 智彦 平和で豊かな能代をつくる市民懇話会 代表世話人 吉田 瑞穂	総 務 常 任 委 員 会	趣旨採択
「民間と競合する公的施設の大規模増改築計画の中止について」	秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合森岳支部 支部長 石井 秀基 秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 松村 讓裕	産業建設常任委員会	不 採 択
「森岳温泉再生に向けたインフラ整備の陳情」	森岳温泉旅館組合 組合長 石井 秀基	産業建設常任委員会	不 採 択

三種の星



八竜中学校野球部主将
小川 和也

昨年、全県少年野球大会において準優勝という成績を収め、17年ぶりとなる東北中学校野球大会に出場することができました。指導していただいた先生方や見守ってくださった保護者の方々、三種町の皆様の大きな支援のおかげだと思えます。本当にありがとうございました。

八竜中野球部には体の大きい選手やスター選手は一人もいませんでしたが、新人戦において全県大会優勝を果たしたことで絶対に夏は負けられないという意気込みが全員にありました。そして、全員がどのチームよりも練習したという自信をもっていました。

全県少年野球大会が始まり、初戦の雄勝中戦では大型左腕の

好投手に苦戦しましたが、ワンチャンスをものにして勝つことができました。これで勢いに乗り、次の角館中戦では打線がつながり快勝することができました。

準決勝では延長10回の末、美郷中にサヨナラ勝ちし、東北大会の出場権を得ることができました。

決勝の御野場中は秋の全県大会決勝と同じ相手でした。決勝は先制され、最後まで追いつけず惜敗しました。

東北大会では、1回戦、リードを守り切れず、サヨナラ負けを喫してしまいました。悔しさはありましたが、それ以上に達成感と感謝の気持ちがこみ上げ



全県少年野球大会での勝利

てきました。

3年間を振り返ると辛いことが多かったのですが、今では最高の思い出です。私はこれから高校で硬式野球に挑戦し、甲子園をめざします。中学校での価値ある経験を生かして成長できるようにさらに努力していきたいです。

編集後記

今年の正月は例年に比べて積雪も少なく、穏やかに過ごすことができたのではないのでしょうか。

昨年は全国各地で自然災害が発生し、当町でも多くの方が被災されました。改めてお見舞い申し上げます。

天災とはいえ、最小限の被害に留める最善の策が急務であります。

合併後8年が経過し、時局に合わせ様々な課題が山積しています。現議員の任期は6月末までとなりましたが、町の発展と住民福祉の充実のために議員一丸となって取り組むことを約束いたします。

文末ながら、新しき年が皆様にとりまして、良き日々が続きますようお願い申し上げます。

平賀 真 記

